

生誕450年

伊達政宗の生涯をたずねて

第11回

「慶長遣欧使節の派遣」

仙台市博物館 学芸企画室 佐々木徹



東西文化交流の架け橋として

慶長遣欧使節とは、慶長一八年九月

(二六一三年一〇月)、仙台藩主伊達政宗がフランスシスコ会宣教師ルイス・ソテロと家臣の支倉六右衛門(長経、または常長)を大使として、スペイン領メキシコ経由でスペイン、さらにはローマへと派遣した外交使節のことです。仙台藩領内への宣教師派遣の要請とメキシコとの直接貿易(南蛮貿易)を実現するために派遣された同使節は、メキシコとの貿易を望んでいた徳川家康ら江戸幕府の認可を得たうえで行われた一大事業でした。

結果的にこの使節派遣は、日本におけるキリシタン迫害の激化や、スペイン・ローマなどで外交交渉を主導したソテロの言動への疑



ソテロ(中央奥)と支倉がローマ教皇に政宗親書を手渡す謁見図(伊達政宗遣使録)所収、仙台市博物館蔵

念などが原因となって成功を取めることなく終わりましたが、東西文化交流の架け橋となつてしっかりとその足跡を残し、関係した国々の歴史にその名を留めています。

銅版画になつたソテロと支倉

当時のヨーロッパで使節一行が多く関心を集めていたことは、現在もスペイン・イタリアなどに多数残る関係資料の存在からもうかがえます。しかも彼らのローマ滞在中(二六一五年)には、その足跡を詳細に記す書物まで刊行されました。『伊達政宗遣使録』(『伊達政宗遣欧使節記』とも)と呼ばれるその書物は、マドリッド出立時から使節一行に加わつたローマの歴史家アマティーの著作として知られています。はじめイタリア語版が刊行され、二年後の一六一七年にはドイツ語版が刊行されました。

特にドイツ語版は、イタリア語版にはなかった銅版画がいくつか挿入されている点で注目されます。一般流布用として仕立てられた版本には、ソテロと支倉が向かい合った絵扉や左手に書翰を持った支倉単独の肖像画が挿入され、特別製作本とされた版本にはソテロと支倉がローマ教皇に政宗親書を手渡し謁見図がさらに加えられているのです。いずれ

も日本(仙台)からやって来た使節の存在と交流の様子を視覚的に伝えるうえで、大きな意味を持ったと考えられます。また謁見図は政宗の願いが使節を通してローマ教皇に伝えられた瞬間を捉えるという、慶長遣欧使節が果たした役割を象徴的に表す場面として大変貴重なものと言えるでしょう。

使節派遣と後藤寿庵

慶長遣欧使節の派遣と言えば、それを主導した伊達政宗やソテロ、大使の役を忠実につとめた支倉六右衛門の名前が真っ先に挙げられますが、政宗の家臣でキリシタンとしても知られる後藤寿庵も使節派遣に深く関わっていました。その出自をはじめ、寿庵の足跡には不明な部分も多いのですが、国内外の資料から、寿庵が使節派遣事業全般の担当者として造船・艦装・大使の人選などの情報を把握し、ソテロと主君政宗の取次役を担っていたことが確実視されるようになってきました。使節の派遣には、ソテロら国内の宣教師の動きや国外からの宣教師派遣の要請といったキリスト教をめぐる動静が大変重要な要素になっていたことを考えると、ここにも政宗による人事の適材適所ぶりがうかがえそうです。キリシタンの家臣を通じて海外への使節派遣の夢を実現させ、東西文化交流にも一役買った政宗。その足跡は、現在の国際交流にもつながっており、政宗がまいた種が今もなお花を咲かせ続けているとも言えそうです。

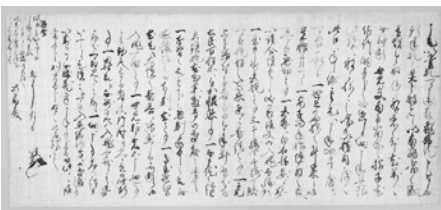
※本稿では仙台市博物館の学術研究機関たる立場から歴史上の人物名に敬称を付しておりません。

特別展 伊達政宗 一生誕450年記念

好評開催中!会期は11月27日(月)まで

- ◇観覧料:一般:1,200円、高校・大学生:1,000円、小・中学生:800円
※10名以上の団体は100円引き
※このほか各種割引があります。詳しくはお問い合わせください。
- ◇休館日:毎週月曜日(11/27は開館)
- ◇開館時間:9時~16時45分(入館は16時15分まで)
- ◆当日利用できる割引券は、博物館ホームページからダウンロードできます。
- ◆現在は後期展示の期間です。(10/31~11/27)

伊達政宗から伊達成実への自筆書状



伊達政宗書状 五部(伊達成実)宛 (天正15年・1587)5月9日 伊達市教育委員会蔵【通期展示】

政宗が関わる天下人、秀吉・家康の資料も展示



色々威二枚胴具足 豊臣秀吉所用 名古屋市秀吉清正記念館蔵【後期展示】

仙台市博物館 TEL:022-225-3074

仙台市博物館 検索